



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は忍耐について何と言っているか?— リビング・イット・アウト・ストロング番号付きKJV聖句

それを生きる・神との歩み— 這う、歩く、走る、走り終える

忍耐— 聖書の基礎教理

開会の言葉

忍耐は、何よりもまず一つの歩みである。子どもは一日で歩けるようにはならない。まず手と膝で這い、それから父がその両腕を取って一步一步歩き方を教え、やがて一人で歩き、そして成長し、走るようになる。よく走る者は競走を走り、その競走には終わりがあり、終わりには冠がある。忍耐もそれと同じである。ギリシャ語の言葉はヒュポモネー(G5281、*patience*)—ストロングによれば、喜びをもって(あるいは望みをもって)耐え忍ぶこと、堅忍—であり、二つの語、G5259(下)とG3306(留まる)から成り立っている。すなわち、下に留まることである。それにはマクロスミア(G3115、*longsuffering*)という仲間がある—霊において長いこと、怒りに遅いことである。ヘブライ語では、待ち望むことをカーヴァー(H6960、*wait*)と呼ぶ—ストロングによれば、より合わせること、撚り合わされた綱のように結び合わせる—待ち望む魂は、綱のように神に結び合わされている。そして忍耐する人はアレク(H750、*patient*)—長いこと。霊において長く、怒りに遅いことである。この学びは、忍耐を人のすべての歩みを通して追っていく。すなわち、言うことしかできないときに、どのようにそれを見出すか。それを持つようになったとき、どのようにその中を歩むか。前に置かれた競走を忍耐をもってどのように走り、それを神の軍における兵士のように献げるか。そして最後に、いかにして線を越えるか—そこでは約束が受け取られ、冠がしっかりと握られ、私たちの神の言葉は永遠に立つ。それを調べ尽くしなさい。

本研究が答える三つの問い:

1. 忍耐はどこに見出され、人はどのようにして初めてそれに至るのか。
2. 人は忍耐を得たなら、それをどのように用いるべきか、また日々どのように生きて表すべきか。
3. 競走はどのように終わるのか—忍耐はゴールで何を受け、何が永遠に残るのか。

ギリシャ語キーワード

“忍耐”— G5281 *hupomone* — 喜びに満ちた(あるいは希望に満ちた)忍耐、不動

私たちの前に置かれている競走を、忍耐をもって走り抜こうではないか

“寛容” — **G3115 makrothumia** — 忍耐、寛容、不屈の精神
愛をもって互いに寛容し、耐え忍びなさい

“忍んだ” — **G5278 hupomeno** — 耐え忍ぶこと、辛抱すること、忍耐して受け入れること、苦しみを忍ぶこと
十字架を忍び、恥をいとわれた

“働かせる” — **G2716 katergazomai** — 十分に働くこと、成し遂げること、実行すること
艱難は忍耐を生み出す

“試み” — **G1383 dokimion** — 試験、試練、試み
信仰の試練は忍耐を生み出す

“競走” — **G73 agon** — 争い、論争、戦い、競走
私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り抜こう

“楽器” — **G3696 hoplon** — 武具、道具、武器
神への義の器としてあなたがたの肢体をささげなさい

“保つ” — **G5083 tereo** — 保つ、堅く保持する、見張る、守る
私の忍耐の言葉を守った

“留まる” — **G3306 meno** — 忍ぶ、残る、留まる、耐え続ける
神のみこころを行う者は永遠に存する

(私個人の考え——この二つの言葉がどのように成り立っているかに注目してほしい。ストロングのコンコルダンスによれば、hupomene(G5281、忍耐)は二つの語、すなわちG5259「下に」とG3306「とどまる」から成っている——下にとどまること。忍耐強い人は、業が終わるまでその重荷の下にとどまり続ける。そしてmakrothumia(G3115、寛容)はG3117「長い」とG2372「怒り」から成っている——怒るまでが長いこと。忍耐強い人は霊が長く、すぐには怒らない。前者は重荷を負い、後者は季節を耐え忍ぶ。そしてどちらも「忍耐」と訳される。ヘブル人への手紙12章1節では、私たちは忍耐(G5281)をもって走り、ヘブル人への手紙6章12節では、信仰と忍耐(G3115)によって約束を受け継ぐ——競走には下にとどまることが求められ、約束には長い霊が求められる。ある一節はこの両方を一つに結び合わせている——あらゆる忍耐と寛容とをもって喜びつつ(コロサイ人への手紙1章11節)。)

ヘブライ語キーワード

“待つ” — **H6960 qavah** — 縛る、結び合わせる(ねじり合わせるように);期待する、待つ
主を待ち望む者は新たに力を得

“忍耐強い” — **H750 arek** — 長い、忍耐強い、辛抱強い、怒るに遅い
霊において耐え忍ぶ者は、霊において高ぶる者にまさる

“待つ” — **H2442 chakah** — 待つこと、とどまること、切望すること
彼を待ち望む者はみな幸いである

“期待” — **H8615 tiqvah** — 紐;期待、希望
あなたの期待は絶たれることがない

“信頼” — **H3176 yachal** — 期待する、待つ、信頼する、待ち望む
彼が私を殺したもうとも、なお私は彼に信頼する

(私の個人的な思い——qavah(H6960、待つ)は、多くの糸をより合わせて作った綱のように、「結び合わせる」という意味のストロングであり、その娘に当たるのがtiqvah(H8615、期待)——文字どおりには綱であり、それゆえ希望である。聖書における待つことは、空しく座っていることではない。それは魂を神に結び合わせることであり、ついにはその待つこと自体が支える綱となる。あなたの期待は断たれることがない(箴言23:18)。そしてarek(H750、忍耐強い)は単に「長い」という意味である——霊において長く、怒るに遅い。この同じ語は、主ご自身が慈しみ深く、恵み深く、忍耐強い(寛容な)方であるとご自身の御名を呼ばれるときにも現れる(出エジプト記34:6)。忍耐深い人は、その父の似姿をまとっているのである。)

I. 探し方 — 見つけ方

(私自身の思い——どの歩みも低いところから始まる。誰も最初から忍耐において成熟して生まれてくる者はいない。忍耐はまず見出されなければならない。そして、これらの証しはそれがどこにあるかを示している。それは聖書の中に見出され、忍耐

の神によって与えられ、あなたの信仰の試練によってあなたの内に働き出される。赤ん坊は走ることができないが、泣くことができ、抱き上げられるのを待つことができる。そこから始めよ。そして何よりもこのことに気づいてほしい——あなたが神を待つより前に、神があなたを待っておられたのだ。)

A. ローマ人への手紙 15:4 これまでに書かれた事からは、すべてわたしたちの教のために書かれたのであって、それは聖書の与える忍耐と慰めとによって、望みをいだかせるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G3874 paraklesis

かつて書かれた事はすべてわたしたちの教訓のために書かれた → 聖書の忍耐と慰めとによって = 望み。

(私自身の思い——忍耐が見出されるのはここ、聖書の中である。昔書かれたものはあなたの学びのために書かれた。忍耐は聖書から来るのであり、あなたはその書の中に、あなたより先にそこで待ち望んだ人々の中に、それを見出すであろう。子供が父の家の戸を開けるように、それを開きなさい。)

B. ローマ人への手紙 15:5 どうか、忍耐と慰めとの神が、あなたがたに、キリスト・イエスにならって互に同じ思いをいだかせ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G3874 paraklesis

どうか、忍耐と慰めとの神が → あなたがたに、キリスト・イエスにならって互に同じ思いをいだかせ。

(私自身の思い——この名に注目してほしい。忍耐の神。聖書はそれを保持しているが、それを与えるのは神である。この書は、いと低き者に向かって伸ばされた神の手である。幼子を造られた方が幼子を教えられる。その賜物を、与える方ご自身から求めよ。)

C. ヤコブの手紙 1:2 わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3986 peirasmos

わたしの兄弟たちよ。あなたがたが → それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。

D. ヤコブの手紙 1:3 あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1383 dokimion ・ ■ G2716 katergazomai ・ ■ G5281 hupomone

あなたの信仰の試みは、忍耐を生み出す。

E. ヤコブの手紙 1:4 だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G5046 teleios ・ ■ G3648 holokleros

だから、なんら欠点のない、完全な → でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。

(私自身の思い——忍耐がどのように生み出されるかを見よ。それは「働き出される」ものである。dokimion(G1383、試み)とは、金属が試されるような試練を意味し、katergazomai(G2716、働く)とは、ストロングによれば「完全に働く、成し遂げる」ことである。試練はあなたを打ち砕くために送られるのではなく、あなたの内に忍耐を働き出すためのものである。そして holokleros(G3648、全き)とは、すべての部分において完全であることを意味する——それを完成させよ。そうすれば、あなたには何一つ欠けるところなくなる。)

F. ペテロの第二の手紙 1:5-6 それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、(6)知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4710 spoude ・ ■ G5281 hupomone

あらゆる勤勉を尽くして、加えなさい → 節制に忍耐を、忍耐に敬虔を。

(私の個人的な考え——忍耐はそれ単独で与えられるものではない。子供が関節ごとに成長していくように、順序をもって「加える」ものである。それは上に向かう道において自制の後、敬虔の前に位置し、その一段を飛び越えることはできない。)

G. ルカによる福音書 8:15 良い地に落ちたのは、御言を聞いたのち、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人たちのことである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2722 katecho ・ ■ G2592 karpophoreo ・ ■ G5281 hupomone

正直で善良な心 + みことばを聞いて、それを守る → 忍耐をもって実を結ぶ。

(私個人の思いだが、御言葉は聞くことによって見出されるが、それは忍耐によって保たれるのである。カテコー(G2722、keep)とは、しっかりと保持する、抑えて離さないという意味のストロングス番号である。成長を望む赤子は、聞いたことをしっかりと握り締めていなければならない。そして実は同じ時には来ない——それは忍耐と共に来るのである。)

H. イザヤ書 30:18 それゆえ、主は待っていて、あなたがたに恵を施される。それゆえ、主は立ちあがって、あなたがたをあわれまれる。主は公平の神でいらせられる。すべて主を待ち望む者はさいわいであ

る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2442 chakah ・ ■ H2442 chakah

主はあなたがたに恵みを施そうとして待っておられる。彼を待ち望む者は皆、幸いである。

I. イザヤ書 64:4 いにしえからこのかた、あなたのほか神を待ち望む者に、このような事を行われた神を聞いたことはなく、耳に入れたこともなく、目に見たこともない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2442 chakah

目もまだ見ぬところ、ああ神よ、あなたのほかに——あなたを待ち望む者のために備えられたものを。

(私自身の思い——この二つを並べて見てほしい。待つという言葉はひとつの言葉、カーハー(H2442, wait)である——タグを見よ。主は待たれる、あなたに恵みを施すために。そして主は、彼を待ち望む者のためにあるものを備えられた。幼子が父を待つ前に、父が幼子を待たれたのだ。あなたは、すでにあなたに対してそれを示してくださった方から、忍耐を学ぶのである。)

J. 詩篇 40:1 わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ。主は耳を傾けて、わたしの叫びを聞かれた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6960 qavah ・ ■ H5186 natah

わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ→主は耳を傾けて、わたしの叫びを聞かれた。

(私個人の思い——それが最初に書かれた言語では、この言葉は二重になっている——待ちに待ちて——カヴァー qavah(H6960、待つ)がカヴァーの上に重ねられている。赤子には泣くこと以外に力はない。そして主は身をかがめられた——ナーター natah(H5186、かがめる)とはストロングによれば、伸ばす、身を低くするの意——主は低き者に向かって身をかがめられる、それはちょうど父が地に伏す子どものもとへ身をかがめるように。待ち望み、そして叫び求めよ。主は聞いてくださる。)

K. 哀歌 3:25 主はおのれを待ち望む者と、おのれを尋ね求める者にむかって恵みふかい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6960 qavah

主はおのれを待ち望む者 + おのれを尋ね求める者にむかって恵みふかい。

L. 哀歌 3:26 主の救を静かに待ち望むことは、良いことである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1748 duwmam

良いことである → 主の救いを望み、また静かに待つことは。

M. 哀歌 3:27 人が若い時にくびきを負うことは、良いことである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5923 ol ・ ■ H5271 naur

人が若い時にくびきを負うことは良いことである。

(私個人の考え——三つの「良い」が一箇所に並んでいる。主は待ち望む者に対して良い方であり、望みを抱いて静かに待つことは良いことであり、若い時にくびきを負うことは良いことである。duwmam(H1748、静かに待つ)はストロングによれば静かに、黙して、である——その静かな待ち望みとは、不平を言わない、静まった待ち望みである。そしてくびきは早くから負われる。若い時に学んだ忍耐は軽く負うことができる。低く始め、小さく始め、そして始めよ。それから立ち上がり、歩め。)

II. 歩む — それを得たときに、それをどうすべきか

(私自身の思い——幼子はもう自分の足で立った。今度は歩みが始まる。忍耐とは箱にしまい込むものではなく、身に着ける衣であり、日々、人々の中で歩み続ける道である。証人たちが示すこの段階の二つの務めに注目したい。それによって自分の魂を保つこと、そしてすべての人に対してそれを身に着けること——なぜなら忍耐の歩みは、信仰を共にする者たちの中で、また自分を試す者たちの中で歩まれるものだからである。)

A. ルカによる福音書 21:19 あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G2932 ktaomai

あなたがたは耐え忍ぶことによって → 自分の魂を勝ち取るであろう。

(私自身の思い——ktaomai(G2932、所有する)は、得る、獲得する、所有するという意味のストロングス番号である。人が自分自身の魂を保つのは、その忍耐によってである。忍耐を失えば、魂は望まぬ所へと運ばれていく。まず自分自身の家を掴め。それから戸口を出て歩き出せ。)

B. コロサイ人への手紙 3:12 だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1746 enduo ・ ■ G3115 makrothumia

神に選ばれた者として身に着けよ → 慈愛 + 謙遜な心 + 柔和 + 寛容。

(私の個人的な思い——エンデュオー(G1746、着る)は、衣服を身にまとうように「着せる」ことを意味するストロングス番号である。寛容は選ばれた者の衣服の一部であり、人が外に出る前に上着を着るように、日々身に着けるものである。身にまもって歩め。)

C. エペソ人への手紙 4:1 さて、主にある囚人であるわたしは、あなたがたに勧める。あなたがたが召されたその召しにふさわしく歩き、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4043 peripateo

召しにふさわしく歩みなさい⇒あなたがたが召されたその召しにふさわしく。

D. エペソ人への手紙 4:2 できる限り謙虚で、かつ柔和であり、寛容を示し、愛をもって互に忍びあい、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3115 makrothumia ・ ■ G430 anechomai

できる限り謙虚で、かつ柔和であり、寛容を示し⇒愛をもって互に忍びあい。

(私の個人的な考え——ここにその歩み自体がある。召しにふさわしい歩みは、寛容をもって歩まれる。そして anechomai(G430、忍耐)とは、ストロングによれば、自分を抑えて持ちこたえる、耐え忍ぶという意味である——互いに担われなければならない、それは重荷を運ぶように、そして愛をもって運ばれるのだ。あなたの兄弟こそ、あなたの忍耐が歩む畑である。)

E. コロサイ人への手紙 1:11 更にまた祈るのは、あなたがたが、神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、何事も喜んで耐えかつ忍び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G3115 makrothumia

その栄光の力に従い、あらゆる力をもって強められる⇒すべての忍耐と寛容を喜びをもって。

(私自身の思い——この研究の二つの言葉が一行に並んで立っている——タグを見よ:あらゆる忍耐(G5281)と寛容(G3115)——下に留まることと、長い霊とが共にある。そして、その両方のための力は自分自身のもではなく、彼の栄光の力である。そして、その両方の終わりは重い顔ではなく、喜びである。)

F. ガラテヤ人への手紙 5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3115 makrothumia

御霊の実⇒愛+喜び+平安+寛容+親切+善意+誠実。

(私自身の思い——寛容は御霊ご自身の木に育つものである。御霊によって歩め、そうすれば実は歩む中で結ばれる。それは手で作られるものではなく、枝が実を結ぶように、結ばれるものなのである。)

G. テサロニケ人への第一の手紙 5:14 兄弟たちよ。あなたがたにお勧めする。怠惰な者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3114 makrothumeo

怠惰な者を戒め+小心な者を励まし+弱い者を助け+すべての人に対して寛容でありなさい。

H. 詩篇 37:7 主の前にもだし、耐え忍びて主を待ち望め。おのが道を歩んで栄える者のゆえに、悪いはかりごとを遂げる人のゆえに、心を悩ますな。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1826 damam ・ ■ H2342 chuwl

主にあり汝を憩わせよ、耐忍びて彼を待て⇒汝みずから思い煩うことなかれ。

(私自身の思い——damam(H1826、休む)とは、ストロングの定義によれば黙する、静まるという意味である。忍耐の休みとは、静かな口である。そして詩篇は、あなたが道を歩む間に目にするものを知っている——正しくない者であっても、その道が栄える人のことを。思い煩うな。忍耐は、悪しき者の栄えを見ても、その足並みを乱すことなく通り過ぎていく。)

I. 箴言 16:32 怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H750 arek ・ ■ H1368 gibbor ・ ■ H4910 mashal

怒りをおそくする者は勇士にまさり⇒自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

(私自身の考え——世の中では、力ある者、町を攻め取る者を偉大とみなす。しかし御言葉は、忍耐強い者をより偉大とみなす。arek(H750、遅い)は「長い」を意味する——怒りに対して霊が長いこと。そしてmashal(H4910、治める)は、治める、支配する、というストロングの定義である。忍耐強い者は、すでに一つの王国を持っている。それは、治められた自分自身の霊である。)

J. 伝道の書 7:8 事の終りはその初めよりも良い。耐え忍ぶ心は、おごり高ぶる心にまさる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H750 arek

事の終りはその初めよりも良い⇒耐え忍ぶ心は、おごり高ぶる心にまさる。

(私の個人的な考え——忍耐と誇りは互に対立している。誇りは待つことができず、今すぐそれを手に入れなければならないからだ。しかし、事の終わりはその始まりよりも良い——そして、霊において忍耐深い者だけがその終わりを見るのだ。この言葉を握り続けよ。ゴールがそれを開いてくれるだろう。)

K. ヤコブの手紙 5:7 だから、兄弟たちよ。主の来臨の時まで耐え忍びなさい。見よ、農夫は、地の尊い実りを、前の雨と後の雨とがあるまで、耐え忍んで待っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3114 makrothumeo ・ ■ G3952 parousia ・ ■ G1092 georgos ・ ■ G1551 ekdechomai ・
■ G3114 makrothumeo

主の来臨まで耐え忍びなさい → 農夫は地の尊い実りを待ち + それのために長く忍耐する。

L. ヤコブの手紙 5:8 あなたがたも、主の来臨が近づいているから、耐え忍びなさい。心を強くしていなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3114 makrothumeo ・ ■ G4741 sterizo ・ ■ G3952 parousia ・ ■ G1448 eggizo

あなたがたも忍耐しなさい。心を強くしなさい。主の来臨は近づいている。

(私個人の思い—農夫は歩む者に教える。彼は待つ—エクデコマイ(G1551, waits)、ストロングによれば「期待する、待ち望む」という意味だ—そして彼が待ち望む実りは尊いものである。誰も無価値なもののために長く待ったりはしない。だから忍耐の歩みは、到着へと向かう歩みなのだ。あなたがたも耐え忍びなさい、主ご自身が近づいておられるのだから。そしてステリゾ(G4741, establish)は、ストロングによれば「しっかりと据える」という意味だ—しっかりと据えられた心は道から迷い出ることがない。さあ、行動の備えをせよ。競走はあなたの前にある。)

III. 競走を走る — 神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私自身の思い—ここで歩みが競走となり、競走が戦いとなる。この段階の大いなる言葉に注目せよ。競走は「忍耐をもって」走られる—そして「競走」という言葉そのものは、第一の証人の下に注記、G73を見よ、ストロング辞典では争い、闘争、戦い、競走を意味する。この競走を走ること、まさにこの戦いを戦うことなのだ。神の走者は神の兵士である。彼は苦難に耐え、まといつくものに絡み取られず、自らの体の部分部分を神に献げる—そして彼が献げる器具は、注記G3696を見よ、古い言葉では戦いの武器である。)

A. ヘブル人への手紙 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus ・ ■ G3591 ogkos ・ ■ G2139 euperistatos ・ ■ G5281 hupomone ・ ■ G73 agon

すべての重荷 + 常にまわりつく罪を捨て去り → 私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走ろう。

(私の個人的な思い—ここに研究全体が五つの言葉に立つ。忍耐をもって競走を走れ。忍耐は歩みの遅い者だけの美德ではなく、走る者の力である。そして走る者は身軽である—あらゆる重荷を脇に置き、その忍耐が重荷にではなく、競走のために費やされるように。)

B. ヘブル人への手紙 12:2 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G747 archehos ・ ■ G5051 teleiotes ・ ■ G5278 hupomeno

信仰の創始者であり完成者であるイエスを仰ぎ見つつ → 御前に置かれた喜びのゆえに、十字架を忍ばれた。

C. ヘブル人への手紙 12:3 あなたがたは、弱り果てて意気そそうしないために、罪人らのこのような反抗を耐え忍んだかたのことを、思いみるべきである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G485 antilogia ・ ■ G2577 kamno ・ ■ G1590 ekluo

耐え忍ばれた方をよく思いみなさい → あなたがたが疲れ果てて心が萎えることのないためです。

(私の個人的な思い—走者は目をどこに定めるのか。自分の足元でもなく、他の走者でもない。イエスを仰ぎ見て。この競走は、その創始者であり完成者である方によって、あなたより先に走られた。彼は耐え忍ばれた—ヒュポメノー(G5278、耐え忍ぶ)、彼は下にとどまられた—十字架そのものを、御前に置かれた喜びのゆえに。あなたの忍耐が弱くなるとき、彼のことを思え。仰ぎ見ることこそ、力である。)

D. ヘブル人への手紙 10:36 神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G1860 epaggelia

あなたがたには忍耐が必要である — 神の御心を行った後、約束のものを受けるためである。

(私の個人的な思い—走る者に必要なのは速さではない。伝道者は言った、競走は速い者に必ず勝つとは限らないと。約束は「行う」ことの終わりに立っており、忍耐は行う者を行うことから受け取ることへと運ぶ。あなたにはそれが必要である。それなしに完走する者はいない。)

E. テモテへの第二の手紙 2:3 キリスト・イエスの良い兵卒として、わたしと苦しみを共にしてほしい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2553 kakopatheo ・ ■ G4757 stratiotes

艱難に耐えよ。イエス・キリストの良き兵士として。

F. テモテへの第二の手紙 2:4 兵役に服している者は、日常生活の事に煩わされてはいない。ただ、兵を募った司令官を喜ばせようと努める。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4754 strateuomai ・ ■ G1707 empleko

兵役に従事する者は、この世の生活の事に紛わされることはない。それは彼を兵に選んだ者を喜ばせるためである。

(私個人の思いですが、走る者と兵士は同じ人物です。走る者はすべての重荷を捨て去り、兵士は絡み合うことをしません。両者とも身軽に旅をし、両者ともただ一人の方、彼を選んだ方の目のためにそれを行うのです。神に献げられる忍耐とは兵士の忍耐であり、肉が逃げ去ろうとする時にも、悪しき日に兵士が踏みとどまるように、しっかりと立ち続けるものです。)

G. テモテへの第二の手紙 2:10 それだから、わたしは選ばれた人たちのために、いっさいのことを耐え忍ぶのである。それは、彼らもキリスト・イエスによる救を受け、また、それと共に永遠の栄光を受けるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G1588 eklektos

私は選ばれた者たちのためにすべての事を耐え忍ぶ→それは、彼らもキリスト・イエスにある救いを、栄光とともに得るためである。

(私自身の思い——兵士が忍び耐える理由に注目したい。それは自分自身のためだけではなく、選ばれた者たちのため、すなわち彼らがそれを得るためである。兵士として捧げられる忍耐とは、他の人々のために費やされる忍耐である。競技者は褒賞のために走り、兵士は全軍のために耐え忍ぶ。)

H. テモテへの第二の手紙 2:12 もし耐え忍ぶなら、彼と共に支配者となるであろう。もし彼を否むなら、彼もわたしたちを否むであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G4821 sumbasileuo

もし耐え忍ぶなら、彼と共に支配者となるであろう。

(私の個人的な感想——このタグに注目し、よく見ていただきたい。ここで「耐え忍ぶ」と訳されている言葉はG5278であり、この研究全体を貫く「忍耐」という言葉そのものである——もし私たちが耐え忍ぶならば、彼と共に治めることになる。兵士の苦しみと聖徒の忍耐とは、ひとつの言葉なのである。そして、その一つの言葉の行き着く先は御座なのである。)

I. ローマ人への手紙 6:13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3696 hoplon ・ ■ G3936 paristemi ・ ■ G3696 hoplon

死人の中より生き返った者のごとく、自らを神に献げ、あなたがたの肢体を義の器として神に献げよ。

(私個人の思い——hoplon(G3696、器具)は、ストロングによれば武具、器具、武器を意味する。明け渡された人の体の部分は、神の御手にある義の武器である。忍耐もまたそのような武器である——それを明け渡すなら、戦いは主のものとなる。武器は自らのために戦うことはなく、それを握る手に完全に委ねられている。)

J. ガラテヤ人への手紙 6:9 わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1573 ekkakeo ・ ■ G1590 ekluo

わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない→たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。

(私個人の思い——農夫の言葉が走者のもとへ戻ってくる。「時に至りて」。収穫には定まった季節があり、それはちょうど競走に定まった決勝線があるのと同じである。そして収穫を失う唯一の道は、その前に諦めてしまうことである。忍耐をもって保たれる善を行うことは、決して無駄に蒔かれることはない。)

K. ヨハネの黙示録 14:12 ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G5083 tereo

ここに、神の戒めを守り→イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」。

(私自身の思い——神には一軍があり、その印は忍耐である。「聖徒たちの忍耐がここにある」。それはただ座して待つ忍耐ではない。それは守る——神の命令と、イエスの信仰とを——ちょうど兵士が自分に託されたものを守るように。)

L. イザヤ書 40:31 しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6960 qavah ・ ■ H2498 chalaph ・ ■ H7323 ruwts ・ ■ H3212 yalak

主を待ち望む者は新たに力を得→走ることに疲れず、歩くことに倦まず。

(私の個人的な考え——あきらめないランナーは、待ち望む者の秘訣を持っている。すなわち、主を待ち望む者は新たなる力を得る。待つことこそが、走る力なのだ。chalaph(H2498、新たに作る)とは、変える、譲り渡すという意味を持つストロング番号である——待つ者の力は、主の力と交換されるのである。そのように走るなら、ゴールはあなたの前にある。)

IV. フィニッシュライン——忍耐、そして、みことばは永遠に存在する

(私個人の思い——すべての競走には終わりがあり、その終わりは壁ではなく、受け取ることである。忍耐する者のために、その線の向こうに何が待っているかを聞くがよい。相続される約束、与えられる冠、断たれることのない期待——そしてそのすべての根底にあるのは、それらすべてを約束し、とこしえに続く言葉である。忍耐する者と、とこしえに立つ言葉とは、互いに属し合っている。神のみこころを行う者は、自分が守ったその言葉と同じように、とこしえに続くのである。)

A. ヘブル人への手紙 6:12 怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3576 nothros ・ ■ G3115 makrothumia

怠ることがなく → 信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

B. ヘブル人への手紙 6:15 このようにして、アブラハムは忍耐強く待ったので、約束のものを得たのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3114 makrothumeo ・ ■ G2013 epitugchano

彼は忍耐して待ち望んだ後 → 約束のものを得た。

(私自身の思い——約束への道は、それを完走した一人の人によって証明されている。彼は忍耐した後、それを得たのである。神の約束に至る道はこれ以外にない——信仰と忍耐である。そしてそれは、あなたより先に他の人々が完走した道である。それを完走した人々に従う者となれ。)

C. ローマ人への手紙 5:4 忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone ・ ■ G1382 dokime

忍耐、錬達 → 錬達、希望。

D. ローマ人への手紙 5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1680 elpis

希望は恥を来らせず、神の愛は聖霊によりて我らの心に注がる。

(私自身の思い——この連鎖がどこで終わるかに注目したい。忍耐はドキメー(G1382、経験)を生み出すストロングによれば、それは証拠、すなわち試されて真実であると分かったものである。そしてその証拠は望みを生み出す。そしてその望みはわたしたちを恥に至らせない。忍耐は疲れの内に終わるのではなく、聖霊によって心に注がれる、恥じることのない望みの内に終わるのである。)

E. ヤコブの手紙 1:12 試練を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G1384 dokimos ・ ■ G4735 stephanos

試練を耐え忍ぶ人は幸いである。--その人は、試練に耐えたときに、いのちの冠を受けるからである。

(私の個人的な思いです——ドキモス(G1384、試みられた)とは、ストロングの定義で「是認された」ということであり、火を通り抜けた金属のようなものです。最初の一マイルの試練は、最後には是認へと変わり、その冠は報酬ではなく——それは、主を愛する者たちに対して約束されたものです。)

F. ヨハネの黙示録 2:10 あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4103 pistos ・ ■ G4735 stephanos

これらの苦しむべき事を何にも恐るな。汝、死に至るまで忠実なれ。然らば我、生命の冠を汝に与えん。

G. ヨハネの黙示録 3:10 忍耐についてのわたしの言葉をあなたが守ったから、わたしも、地上に住む者たちをためすために、全世界に臨もうとしている試練の時に、あなたを防ぎ守ろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5083 tereo ・ ■ G5281 hupomone ・ ■ G5083 tereo ・ ■ G3986 peirasmos

あなたはわたしの忍耐の言を守った。それゆえ、わたしもあなたを試みの時から守る。

(私自身の思い——この学びの中で最も重要な言葉に耳を傾けよう。それは「わたしの忍耐」の言葉である——その忍耐は、あなたのものである前に、彼のものである。そして「保つ」ということは二重になっている——タグを見よ、同じ一語、G5083が二度用いられている。あなたは「わたしの言葉を保った」、それゆえ「わたしもあなたを保つ」。彼の忍耐の言葉を保つ者は、その言葉の主によって自らも保たれるのである。)

H. ヨハネの黙示録 3:11 わたしは、すぐに来る。あなたの冠がだれにも奪われないように、自分の持っているものを堅く守っていなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2902 krateo ・ ■ G4735 stephanos

あなたの冠がだれにも奪われないように → 自分の持っているものを堅く守っていなさい。

(私の個人的な考え——ゴールラインで命じられる言葉は短い。しっかりと堅く保て。krateo(G2902、堅く保つ)は、強さを用いること、保持することを意味するストロングス番号——強い者の握力である。冠はすでに「あなたのもの」——あなたの冠として語られている。忍耐とは、彼が来られるまでそれを握り続ける手である。)

I. 箴言 23:18 かならず後のよい報いがあって、あなたの望みは、すたらない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8615 tiqvah

かならず後のよい報いがあって → あなたの望みは、すたらない。

(私個人の思い——歩みの段階の言葉を思い出す、事の終わりは始めよりも良い——そしてここに終わりの約束がある。SURELY THERE IS AN END(必ず終わりはある)。そしてそのタグを見よ。tiqvah(H8615、期待)はqavah、あの待ち望むという語の娘であり、ストロングによれば文字通りA CORD(綱)である。待ち望む魂はその神に綱のように結ばれている。そして綱は断ち切られることもある——しかしこの綱は断ち切られることがない。忍耐する者の望みは、その一線を越える所まで持ちこたえる。)

J. ヨハネの第一の手紙 2:17 世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

世は去りゆく → 神の御心を行う者は永遠に存する。

(私の個人的な思い——これを走る者の必要のかたわらに置いてみよう。あなたには忍耐が必要である、それは、神の御心を行った後に、約束を受けるためである。忍耐する人はみ心を行う人であり、み心を行う人は永遠に「とどまる」——メノー(G3306、とどまる)、これはヒュポモネーの中に隠されている、まさにその「とどまる」を意味する語根である。世はそれ自身のcompetitionを走り、過ぎ去っていく。忍耐する人は、世が過ぎ去った後にも残るのである。)

K. ペテロの第一の手紙 1:25 これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3306 meno

主の言(ことば)は永遠(えいえん)に存(た)つなり + これは福音(ふくいん)をもって汝(なんじ)らに宣(の)べ伝(つた)えられた言(ことば)なり。

L. イザヤ書 40:8 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1697 dabar

草は枯れ、花はしぼむ。しかし → われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

(私の個人的な思い——ペテロをイザヤと並べて置き、一つの声を聞く。すなわち、我らの神の言葉は永遠に立つ。主の言葉は永遠に続く——そして、この「耐え忍ぶ言葉」、タグを見よ、G3306、これは「留まる言葉」である。あなたが忍耐して守った言葉は永遠に続き、神の御心を行う者はそれと共に永遠に続く。神にあって待ち望んだものは、決してその終着点で失われることはない。)

二人の口

ヤコブの手紙 1:3 あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1383 dokimion ・ ■ G2716 katergazomai ・ ■ G5281 hupomone

あなたの信仰の試みは、忍耐を生み出す。

ローマ人への手紙 5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2347 thlipsis ・ ■ G2716 katergazomai ・ ■ G5281 hupomone

私たちは患難を喜ぶ。なぜなら、患難は忍耐を生み出すからである。

ペテロの第一の手紙 1:7 こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変わるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1383 dokimion ・ ■ G602 apokalupsis

あなたがたの信仰の試練は金よりも遥かに尊い → イエス・キリストの現れるときに、称賛と誉れと栄光に至ることが見出される。

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは 今、三 度目 にあなたがたの 所 に 行 こう としている。すべての 事 がらは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定 する。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus

すべての 事 がらは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定 する。

(私個人の思い — 三人の証人、そして二組の同じ言葉について。ヤコブは、信仰の試練が忍耐を生み出すと言い、パウロは、艱難が忍耐を生み出すと言う — この「生み出す」という言葉は同じ一語であり、タグを見よ、G2716、完全に働かせるという意味である。またヤコブの「試練(TRYING)」とペテロの「試練(TRIAL)」も同じ一語であり、G1383である。ヤコブはその試練が何を生み出すかを告げる — 忍耐である。ペテロはその試練が何ほどの価値があるかを告げる — 金よりもはるかに尊いということである。二人または三人の証人の口によって、事は確立する。すなわち、試練は職人であり、忍耐はその作品であり、その価値は金にも勝るということである。)

影と実現

Shadow ヨブ記 13:15 見よ、彼はわたしを 殺 すであろう。わたしは 絶望 だ。しかしなおわたしはわたしの道を彼の前に 守り 抜 こう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3176 yachal

見よ、彼はわたしを 殺 すであろう。わたしは 絶望 だ。

Fulfillment ヤコブの手紙 5:11 忍び 抜 いた人たちはさいわいであると、わたしたちは 思 う。あなたがたは、ヨブの 忍耐 のことを 聞 いている。また、主 が彼になさったことの 結末 を 見 て、主 がいかに 慈愛 とあわれみとに 富 んだかたであるかが、わかるはずである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G5281 hupomone ・ ■ G5056 telos

忍耐する者を我らは幸福とす → ヨブの堅忍 + 主の果 = いと慈悲深く、憐憫に富みたまふ。

Fulfillment ペテロの第一の手紙 2:21 あなたがたは、実 に、そうするようにと 召 されたのである。キリストも、あなたがたのために 苦 しみを受け、御足の 跡 を 踏 み 従 うようにと、模範を 残 されたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5261 hupogrammos ・ ■ G2487 ichnos

キリストもまた、私たちのために 苦 しみを受け — 私たちに模範を残し、その足跡に従わせるためであった。

(私自身の思い — 影自身の言葉に注目せよ。ヨブのTRUST(信頼)、そのタグ、H3176を見よ、それは待つという言葉である — ストロングスによれば、待つこと、忍耐すること、望むことを意味する。「たとい彼われを殺すとも、我は彼を待ち望まん」 — ここにヨブの忍耐のすべてが一行に収められている。そしてヤコブはその結末を明らかにする。あなたがたは主がもたらされた結末を見た、主は非常に慈悲深く、優しい憐れみに満ちておられる — 殺すことが結末ではなかった、憐れみこそが結末であった。そして実物は影よりも大いなるものである。ヨブより偉大な方が 苦 しみを受け、私たちに模範を残された — hupogrammos(G5261、模範)、ストロングスによれば下に置かれた写し、なぞるためのもの — それゆえあなたがたは彼のSTEPS(足跡)に従うのである。忍耐の歩みとは、すでに印刷された足跡をたどる歩みである。それを最後まで従え、その終わりは憐れみである。)

閉会

ペテロの第一の手紙 5:10 あなたがたをキリストにある 永遠 の 栄光 に 招 き 入れて 下 さったあふるる 恵 みの神は、しばらくの 苦 しみ の 後、あなたがたを いや し、強め、力づけ、不動のものとして 下 さる であろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3958 pascho ・ ■ G2675 katartizo ・ ■ G4741 sterizo ・ ■ G4599 sthenoo ・ ■ G2311 themelioo

すべての恵みの神 → あなたがたがしばらく 苦 しみを受けた後 → あなたがたを 全 う し、堅くし、強くし、確立して くだ される。

ローマ人への手紙 15:13 どうか、望みの神が、信仰 から 来 るあらゆる 喜 びと 平安 とを、あなたがたに 満 たし、聖霊の力によって、あなたがたを、望みにあふれさせて 下 さる ように。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1680 elpis ・ ■ G4137 pleroo

望みの神が、あなたがたを 信 じる ことによってすべての 喜 びと 平安 で 満 たして くだ される ように — それは、あなたがたが望みにあふれるためである。

私自身の思いを、今、この帰路の全体にわたって集め、それを支えてきた神の御名の数々に目を留めよう。言うことは忍耐の神から始まった。この方は聖書を通して忍耐を与え、あなたが待つことができるようになる前に、あなたを待っていてくださった方である。歩みはそれを日々身にまとわせた。すなわち、自分の魂を保つこと、すべての人に対して寛容であること、主の内に

安らぎ、思い煩わないこと。競走はそれを走り抜き、献げた。忍耐をもって走り、良い兵士のように苦難に耐え、もし共に苦しむなら、共に治めることにもなる。そしてゴールはそれによって受け取る。信仰と忍耐によって約束を受け継ぎ、確かに終わりがあり、あなたの望みは断たれることがない。今、その線に立つ二つの御名を聞くがよい。あらゆる恵みの神、あなたがしばらく苦しんだ後に、あなたを全うし、堅くし、強め、不動のものとしてくださる方。そして望みの神、信じることによってあらゆる喜びと平安であなたを満たしてくださる方。あなたに歩むことを教えられた方が、あなたを線の向こうへと導いてくださる。苦しみの上に、不動のものとしてくださる。そして望みは恥を見させることがない。歩み続け、良く待ちなさい。主は近い。

練習クイズ

1. ヤコブの手紙 1:3 — あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって:
 - a) 信心
 - 忍耐
 - c) 希望
2. ルカ21:19 — あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の:
 - a) 魂
 - b) 心
 - c) 約束
3. ヘブル人への手紙 12:1 — いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、耐え忍んで走りぬこうではないか:
 - a) この世の事柄
 - b) 彼の前に置かれた喜び
 - 前に置かれている競走
4. ヘブライ人への手紙 10:36 — 神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは:
 - 命の冠
 - 約束のもの
 - c) 前の雨と後の雨
5. コロサイ人への書 1:11 — 何事も喜んで耐えかつ忍び、
 - a) 柔和
 - b) 柔和
 - 喜び
6. テモテへの第二の手紙 2:12 — もし耐え忍ぶなら、彼と共に:
 - 彼と共に支配者となる
 - b) 救いを得る
 - c) 約束を受ける
7. ヨハネの黙示録 3:10 — あなたが忍耐についてのわたしの言葉を守ったから、わたしもあなたを防ぎ守ろう、次から:
 - a) 私たちを非常に絡めとる罪
 - 誘惑の時
 - c) 過ぎ去る世

解答:1-b、2-a、3-c、4-b、5-c、6-a、7-b

このスタディの分岐

影が光をもたらす様子:ヨブは言った、たとひ彼われを殺すとも我は彼に依り頼まん(ヨブ記13:15)、そして彼の信頼の言葉は待ち望む言葉である(H3176—望み、留まる、信頼する、待つ)——これを、凡て彼を待ち望む者はさいはひなり(イザヤ書30:18)、また汝等ヨブの忍耐を聞けり(ヤコブ書5:11)と並べて見よ、それ自体の研究への備えとして。

新契約はこれをいかに説き明かすか。先祖たちには「主に依り頼み、忍びて主を待て」(詩篇37篇7節)と言われ、われらには「忍耐をもてわれらの前に置かれたる競走を走らん」(ヘブル書12章1節)と言われたり——待つことは走ることとなりたれど、そのいずれも一つ

の忍耐なり。

言葉の意味が問われる場面である。ヘブル人への書12:1(G5281)における忍耐は、下にとどまり耐え忍ぶことであり、ヘブル人への書6:12(G3115)における忍耐は、怒りに遅く、寛容な心である——競走はその一方を求め、約束はその他方を求める。そしてコロサイ人への書1:11は両者を一行のうちに置いている——どの言葉がどの場所に立っているか、またその理由を見極めよ。

それが永遠にまで及ぶ理由はこうである。神の御心を行う者は永遠に至るまで存続する(ヨハネの第一の書 2:17)。そして、神の御心を行った後に約束のものを受けるためには、忍耐が必要である(ヘブル人への書 10:36)——御心を忍耐して行う者こそ、永遠に生きる人である。

余談：地の尊い実を待つ農夫（ヤコブの手紙5:7）は、忍耐をもって実を結ぶ良い地のそばに立っている（ルカによる福音書8:15）——種を蒔く者、地、そして忍耐の収穫、それ自体の研究に備えて。

可能な洞見: テモテ後書2章12節(G5278)で「忍ぶ」と訳される言葉は、この研究における「耐え忍ぶ」という言葉そのものである——もし忍ぶならば、それは耐え忍ぶことであり、その終わりには御座がある。そして箴言23章18節(H8615、ティクヴァー)の「望み」は、古語において文字通り「一本の綱」であり、待ち望むという言葉カーヴァー(H6960)の娘なのである——待ち望む魂は綱のごとく神に結ばれており、その綱は断ち切られることがない。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).